

<概要>

- 1日、ホンジュラスは、第8回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）首脳会議の場で、CELACの議長国に就任した（任期1年間）。
- 8日、米ニューヨーク連邦地裁は、エルナンデス前大統領に、米国への麻薬密輸等の罪で、有罪評決を下した。
- 14日、マテオ・ジブリン・ホンジュラス民間企業会（COHEP）会長の2年間の任期終了に伴い、アナベル・ガジャルド氏が新COHEP会長に就任した。
- 19日、ホンジュラス国会は、エルナンデス前政権時の2021年10月にニカラグア政府と共に署名した、フォンセカ湾の湾外水域及びカリブ海水域の領海等境界画定に係る合意内容を含む二国間条約「独立200周年統合条約」を承認した。

<本文>

1 外交

（1）ホンジュラスのCELAC議長国就任

ア 3月1日、カストロ大統領は、エクトル・セラヤ大統領私設秘書（カストロ大統領子息）及びヘラルド・トーレス外務筆頭次官と共に、セントビンセント及びグレナディーン諸島を訪問し、第8回CELAC首脳会議に出席した。2023年CELAC議長国であるセントビンセント及びグレナディーン諸島のラルフ・ゴンサルヴェス首相からCELAC議長の座を引き就いだ（任期1年間）。同会議には、グテーレス国連事務総長、ルラ・ダ・シルバ・ブラジル大統領、ニコラス・マドゥロ・ベネズエラ大統領、ディアスカネル・キューバ大統領、グスタボ・ペトロ・コロンビア大統領、ルイス・アルセ・ボリビア大統領らが出席した。

イ 第8回CELAC首脳会議終了後、カストロ大統領らホンジュラス代表団は、マドゥロ・ベネズエラ大統領及びQIU Xiaoqi 中国政府中南米事務特別代表と会談した。

（2）エルナンデス前大統領への有罪評決

3月8日、米ニューヨーク連邦地裁陪審は、米国へのコカイン密輸に関し、麻薬組織と共謀し、麻薬密売と武器使用に関連した罪で、ファン・オルランド・エルナンデス前大統領（国民党：任期2014～18年、2018～22年）に有罪評決を下した。米司法省によれば、量刑は6月26日に言い渡される予定であり、少なくとも禁錮40年を科され、終身刑となる可能性も指摘されている。

（3）日本によるコパン遺跡に関する支援

ア 3月11日、ホンジュラス人類学歴史研究所（IHAH）は、ユネスコ及び日本政府の支援を受けて取り組む、2024～2028年の「コパンのマヤ遺跡」の観光開発マスタープラン策定プロジェクト発

表式典を開催した。同式典には、ベレス文化・芸術・文化遺産大臣、ロペス・ユネスコ・サンホセ事務所（ホンジュラスを管轄）代表、カニサレス IHAH 所長、中原駐ホンジュラス日本大使が出席した。

イ 日本の公立小松大学の中村誠一教授率いる考古学チームは、本年4月より IHAH と協力の上、コパン県ラヒグアに位置するエルプエンテ考古学公園にて発掘及び研究の再開を開始すると発表した。

（４）カストロ大統領によるプーチン大統領当選祝意表明

3月17日、カストロ大統領は、自身の SNS で、「ホンジュラス大統領及びラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）議長の立場で、ロシアでの大統領選挙において、革新的な勝利を収めたプーチン大統領に祝意のメッセージを送った」と述べた。その後、15日、CELAC 加盟 10ヶ国（アルゼンチン、チリ、コスタリカ、エクアドル、グアテマラ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ドミニカ共和国、ウルグアイ）は、プーチン大統領への祝意を含め CELAC 議長としてのカストロ大統領の発言に対する共同非難声明を発表した。

（５）日本による対ホンジュラス円借款「病院ネットワーク強化支援」に関する交換公文等の署名式典

3月19日、中原駐ホンジュラス日本大使は、レイナ外務大臣と共に、対ホンジュラス円借款「病院ネットワーク強化計画」に関する交換公文等の署名・交換を行った。またそれに先駆けて、12日、カストロ大統領等に対し同計画が閣議決定された旨大統領宮殿にて報告した（オチョア財務大臣、パレデス保健大臣、シンディ・ロドリゲス外務国際協力大臣代行、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官出席）。

2 内政・経済

（１）新 COHEP 会長の就任

3月14日、マテオ・ジブリン・ホンジュラス民間企業会（COHEP）会長の2年間の任期終了に伴い、アナベル・ガジャルド氏がその後任に就いた（2024～2026年）。本来は、選挙が実施されるものの、立候補したのはガジャルド氏のみであったため、同氏が会長職を引き継いだ。

（２）中国によるエネカン港拡張工事の中止

3月15日付主要紙「エル・エラルド」紙は、ホンジュラス湾岸公社（ENP）から得た情報として、中国によるエネカン港の拡張工事は中止になったと報じた。

（３）中国人入国者の急増

ホンジュラス移民局（INM）によると、2023年1月～2024年3月の間、米国を目指し、ニカラグアとの国境から当国に入国する中国人は1万4,554人であった。2010年～2022年における同国境で確認された中国人は僅か1,040人であった。

(4) 独立 200 周年統合条約の国会承認

3月19日、ホンジュラス国会は、128票中122票の賛成のもと、独立200周年統合条約を承認した。同条約は、2021年10月、エルナンデス前大統領とオルテガ・ニカラグア大統領が署名したフォンセカ湾の湾外水域及びカリブ海水域の領海等境界画定に係る合意内容を含む二国間条約である。

(5) 国連人権高等弁務官事務所による2023年ホンジュラスの人権状況報告

3月19日、国連人権高等弁務官（OHCHR）ホンジュラス事務所は、2023年のホンジュラスの人権状況年次報告書の発表会を開催した。

(6) 2025年大統領選挙における出馬表明

3月19日、リブレ党のホルヘ・カリクス議員は、2025年大統領選挙における出馬を表明した。リブレ党から大統領選挙に出馬を表明しているのは、リキシ・モンカダ元財務大臣とラッセル・トメ国会副議長と合わせて3名。国民党からは、ナスリ・アスフラ・元テグシガルパ市長（3月5日表明）とアナ・ガルシア（エルナンデス前大統領夫人）（3月12日表明）が出馬を表明している。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2024年		
	2月	1月	2023年 12月
インフレ率（前年同月比）	4.50	5.00	5.19
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	7,334.0	7,396.4	7,555.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	24.79	24.77	24.77

（出典：ホンジュラス中央銀行）

※貿易収支、輸出入、外国送金に関する公表された直近の数値（2023年9月分）は、貿易収支（▲4,209.8百万ドル）、輸出（8,968.4百万ドル）・輸入（13,178.2百万ドル）、外国送金（6,708.8百万ドル）である。

（了）